

情報通信審議会 情報通信技術分科会 局所吸収指針委員会
比吸収率測定方法作業班(第2回) 議事要旨(案)

1 日時

平成22年2月18日(木) 16時00分～17時30分

2 場所

総務省第1会議室(総務省10階)

3 出席者(敬称略)

(1) 構成員

渡邊 聡一(主任)、篠塚 隆(主任代理)、石井 望、石田 宏紀、
伊藤 亮、大西 輝夫、大山 真澄、岡部 薫、金山 佳貴、君山 潤子、
小松崎 剛、鈴木 能成、種市 喜夫(安達構成員代理)、富樫 浩行、
戸田 善文、濱田 リラ、百成 卓三、松浦 長洋、溝部 達克、矢野 陽一、
吉長 寿

(2) 事務局

齊藤電波環境課長補佐、稲垣係長、川名官

4. 議事

(1) 前回の議事要旨(資料－指針2－1)について、修正意見があれば、後日事務局
あて連絡することとして了承された。

(2) 国際規格化の動向について、大西構成員より資料－測定2－2に基づき、説明が
あった。主な質疑応答は以下のとおり。

渡邊 主任：米国のIEC62209-2の採用状況についてはどうであるか。

大西構成員：身体装着機器等、FCCは同様の測定方法を既に採用している。

富樫構成員：複数帯同時送信時の測定について、プローブの周波数範囲外だったら
別に測定し、それぞれ別々に測った数値を足すということか。

大西構成員：そのとおりである。

富樫構成員：Bluetoothのヘッドセット等について、IEC62209-
2では適用されるか。

大西構成員：IEC62209-2では、参考に記載されている。今後予定されて
いるIEC62209-1の改訂版にて盛り込まれる予定である。

百成構成員：複数帯同時送信時の測定方法は、4つの手法のうちどれを使っても良
いということか。

大西構成員：そのとおりである。

戸田構成員：四肢について定義されているか。

渡邊 主任：四肢については、ガイドラインの方で定義している。

君山構成員：目に対して特別な措置はしているか。

渡邊 主任：目への影響も考慮して現在の指針値 $2W/K_g$ がある。

(3) その他

次回作業班の開催日程は別途調整の上、事務局より連絡することとなった。

【配付資料】

資料－測定 2－1 情報通信審議会情報通信技術分科会局所吸収指針委員会局所吸収
指針作業班（第 1 回）・比吸収率測定方法作業班（第 1 回）議事要旨（案）

資料－測定 2－2 大西構成員提出資料